

議長定例記者会見 会見録

日時：令和8年2月9日 10時30分～
場所：全員協議会室

1 発表事項

○令和7年度第2回「みえ現場 de 県議会」を開催します

2 質疑項目

○みえ現場 de 県議会について
○衆議院議員総選挙の結果について

1 発表事項

○令和7年度第2回「みえ現場 de 県議会」を開催します

(議長) 改めまして、おはようございます。ただ今から2月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。まず一点、お詫びを申し上げたいと思います。本日、森野副議長が、雪の影響などにより登庁が困難な状況ですので、私一人でさせていただきたいと思います。本日は発表事項が一つございます。令和7年度第2回みえ現場 de 県議会の開催について発表させていただきます。具体的な内容につきましては、事務局から説明をさせていただきたいと思います。事務局よろしくお願ひいたします。

(事務局) それでは、令和7年度第2回みえ現場 de 県議会の開催についてご説明いたします。お手元の資料、発表事項1をご覧ください。今回のテーマは、「離島の振興～『観光』による課題解決を目指して～」としました。開催趣旨としましては、離島での人口減少と高齢化の進行が著しく、地域の活力の低下が懸念されています。今回は、観光に着目し、にぎわいを取り戻す方策について、離島の住民や関係者の皆さんと意見交換を行い、今後の県議会での議論に反映させていきたいと考えています。日時は、2月19日木曜日14時から16時、場所は伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナルの2階にある多目的ホールです。参加者は、離島振興法に規定の離島振興対策実施地域に指定されている島の住民・関係者の方々5名です。資料の裏面をご覧いただきたいと思います。三重県議会からは、正副議長、広聴広報会議の委員、そして今回のテーマに関わりのある総務地域連携交通常任委員長および政策企画雇用経済観光常任委員長の計14人が参加し、意見交換を行います。傍聴は事前申し込み不要で、どなたでも傍聴いただけます。報道機関の皆さんにおかれましては、事前の情報発信や当日の取材等につきまして、どうぞよろしくお願ひいたします。説明は以上でございます。

(議長) 発表事項は以上でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げたいと思います。

2 質疑項目

○みえ現場 de 県議会について

(記者) 中日新聞です。そしたらまず発表事項からお尋ねします。現場 de 県議会なんですけども、これ資料にあるとおり平成22年度から始まっているというものでよかったです。

(事務局) はい。そのとおりでございます。

(記者) 何回目になりますか。

(事務局) 24回目になります。

(記者) 24回目。今回何か新たな取り組みみたいな部分、例えば離島をテーマにするのが初めてだとか、そのあたりの独自性みたいな部分あれば教えてください。

(事務局) 畦島をテーマにすること自体は、今回2回目ということになりますが、離島の観光というテーマでさせていただくのは初めてという形になります。

(記者) 畦島の観光に着目した経緯みたいな部分はいかがですか。

(事務局) この現場 de 県議会のテーマにつきましては広聴広報会議でその時々の県政の重要課題と思われる内容につきまして決めているところでございます。今回につきましては県で戦略的に観光政策に取り組んでいるなかで、特に離島での観光につきまして、現場の民間の方がその取り組みをどのように受け止めているかについてご意見を聞き、今後民間の方へのサポートについて考えていきたいというご意見がございまして、今回のテーマ、離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～というテーマに決まりました。で、離島で観光とか地域活性化に取り組む方々と意見交換をするということになったところでございます。

(記者) 何かこう具体的に県政にどのように反映させていくかみたいな部分っていうのは、いかがですか。

(議長) よろしいですか。私からちょっとお話をさせていただきたいと思います。

県政に対しましては、離島問題というものは、これ防災・減災の対応からいきますと、非常に大変な状況であります。そしてまた、離島に対しての架橋問題、離島架橋の問題で、以前から議員がしっかりと一般質問の中でも、訴えをさせていただいた状況もございますので、そういったことも含めて、私も参加をさせていただいて、地元の皆さんどのようにお考えなのかということを第一に考えていきたいと思います。南海トラフの地震等々が予想される状況でもございますので、津波対策、そしてまた、防災対策に向けてのお取り組みを聞かせていただこうかなと思っておりますし、県としてはどのように対応するのかということを申し上げていきたいと思っております。

(記者) ありがとうございます。発表項目は以上になります。

(議長) 他に何かございませんか。

○衆議院議員総選挙の結果について

(記者) 発表項目外で、そうしましたら、昨日衆議院選挙の投開票日でしたけども、県内の結果が出そろいましたが、受け止めのほうはいかがですか。

(議長) 非常に、マスコミの皆さんも含めて、いろいろと報道を事前にされておられたということもございまして、もちろんテレビ、そしてまた新聞等々で、この高市旋風が吹くのではないかということを、いろいろと報道された中で、結果的に、今回この三重県では1区から4区までが自民党で当選をされたということでございますので、その点は、当選されました田村憲久議員、そしてまた川崎秀人議員、石原正敬議員、鈴木英敬議員、世古万美子議員、中川康洋議員におかれましても、誠におめでとうございますというお言葉をおかけさせていただきたいと思います。県民の声をしっかりと今後受け止めていただき、国のために、そしてまた三重県のために、力を尽くしていただきたいと思っております。

(記者) 議長、昨日はどちらの候補の会場に行かれたでしょうか。

(議長) 私、昨日はちょっと、地元の菰野町も雪がかなり降っておりまして、実際に深夜に及ぶ状況もございますので、私の選挙区でいけば第3選挙区になりますので、どういった状況なのかということもテレビ等々、拝見をさせていただきました。やはり非常に長い時間がかかるて当確が出られたということなんですが、私、今日の定例記者会見がございましたものですから、テレビで報道を見させていただいたということなんです。

(記者) じゃあ最初から会場に行くことはなく、もう自宅でずっと状況見ていた

ということですか。

(議長) 自宅のほうで見させていただきました。

(記者) あとご地元の3区のお話も出ましたけど、小選挙区制が導入されてから初めて、岡田さんが敗れたというあたり、このあたりについての受け止めはいかがですか。

(議長) 私としても、岡田先生が落選されたということを確認させていただいたときに、実際にこれから三重県第3選挙区も、初めての自民党の国会議員ということありますので、やはり高市旋風が吹き荒れたということも当然だと思いますが、候補者の方もこの1年3ヶ月の間、しっかりと地域を回られて、いろんな、皆さんとお会いをされたのだろうと私も拝見をさせていただきましたし、そういう意味で、石原さんに対してその支援者の方も非常に増えてきたのじゃないかなと思っておりますし、若い方が非常に頑張って、Y o u t u b eとかそういうところも含めて動画配信なんかもしっかりとされておられたと、こういうことも当選の非常に重要なポイントではなかったのかなと思います。

(記者) ありがとうございます。すいません、あと最後になるんですけども、自民党の勝因と、あと中道の敗北っていう部分、それぞれ要因はどのように見てらっしゃいますか。

(議長) 私からはこの自民党、そして中道の議員の先生方が少なくなったということに関しては、私からは逆にコメント差し控えたいと思います。実際に選挙というものは非常に厳しい結果を招く状況もあるんだなということをつくづく考えさせられました。その点は、コメントは控えさせていただきたいと思います。

(記者) ありがとうございます。じゃあ締めていいんですかね。すいません、質問以上になりますので。

(議長) そうですか。

(記者) すいません、一人で申し訳なかったです。ありがとうございます。

(議長) いえいえ、とんでもありません。どうも、ありがとうございました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(以 上) 10時41分 終了